

# 令和3年度（2021年度） 事業実績報告書

## 1. 申請者の概要

申請者	団体名	藤井寺市商工会	
	代表者職・氏名	会長 濱 幸一	
	所在地	〒583-0027 大阪府藤井寺市岡1-2-16	
	担当者	職・氏名	事務局長 尾松 啓祐
		連絡先	TEL（直通）： 072-939-7047
Fax： 072-952-3118			
E-mail： <a href="mailto:fujisho@f-sukiyanen.or.jp">fujisho@f-sukiyanen.or.jp</a>			
①設立年月日	昭和37年6月14日		
②職員数 （うち経営指導員数）	10名（経営指導員10名）（令和4年3月31日現在）		
③所管地域	藤井寺市		
④管内事業所数	2,665（平成28年経済センサス活動調査による）		
⑤管内小規模事業者数	1,924（平成28年経済センサス活動調査による）		
⑥会員数（組織率）	1,265（47.4%）（令和3年12月31日現在）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>① 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。 ② 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。 ③ 商工業に関する調査研究を行うこと。 ④ 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。 ⑤ 展示会、共進会を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。 ⑥ 商工業者の福利厚生に資する事業を行うこと。 ⑦ 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。 ⑧ 商工会としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 ⑨ 行政庁等の諮問に応じ答申すること。 ⑩ 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。 ⑪ 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。 ⑫ 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。 ⑬ 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。 ⑭ 会員の為の外国人技能実習制度に基づく技能実習生の受け入れ業務を行うこと。 ⑮ 職業紹介事業を行うこと。 ⑯ 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な業務を行うこと。</p>			

## (1) 事業の目標

地域内の支援対象事業者が抱える経営課題の把握とその解決に努める。特に潜在的かつ事業者が認識できていない課題を見つけ出し解決の道筋を示すためにも、経営指導員自身の聞く力が重要となるため、自己啓発も必要となる。また、行政をはじめとする各種支援機関との連携を強化し、地域の課題を解決できる施策の立案及び実施を促す。

すべての職員がきめ細やかで内容の充実したより良いサービス（補助金・助成金の紹介、BCPの策定など）を提供し、顧客満足度を上昇させるためにも普段より事業所への訪問や課題のヒアリングを行い、支援対象事業者の要望の一步先に行く支援を行うことを目指す。更に働き方改革の一環である同一労働同一賃金の中小企業への法施行、リモートワーク、パワハラやインボイスの対応など事業者へ法律の理解を促し組織構造の見直しも提案できるようにする。

## (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営支援事業として月に1回発行する商工会ニュースや巡回及び窓口での指導を通じ、各種情報の提供及び周知徹底に取り組んだ。

専門相談支援事業として事業者が抱える高度かつ複雑な課題の解決を図るため、原則として毎月1回の専門家による相談日を設け、また、相談が集中する期間には専門家を増員して対応した。

地域活性化事業として地元事業者を中心にPRを行い、広く参加者を募った。また、活性化事業の集客増と周知徹底の相乗効果を狙い行政機関、地元大学やミニコミ誌等のマスコミと連携して活性化事業をPRした。地域活性化事業には実行委員会を設置し、参加者自身も企画・運営に参加して自らが地域活性化に関われるようなくみ作りにも取り組んだ。

## (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

本市の管内は、小売業やサービス業が多くその中でも小規模事業者の割合が非常に高い。その為、経営相談事業は金融・労務・税務を中心に相談内容が多岐にわたっている。これらの相談に応じるためにも複数にわたる分野の情報を共有し、その場しのぎではなく将来に及ぼす影響まで考慮した支援が必要となっている。ここで解決できない高度かつ複雑な課題は専門相談支援事業を活用したり、直接専門家に相談するなどしてできるだけワンストップサービス対応を心がけた結果、相談者からは高い満足度の回答を得ることができた。

地域活性化事業は、事業者を対象としたにぎわい創出、人材育成やBCPの作成等に重点を置いて取り組んだ。駅前商店街にぎわい創出に関しては、「買って応援ふじいでら〈レシート集めて商品券を当てよう〉」へご応募頂いた方の中から、商店街で使える500円割引券が5,000名に当たる藤井寺応援セール「ダブルチャンスGOGOキャンペーン」を開催した。参加事業所からは、改善点や改善方法などを自主的に考案するところもあり効果としては大きなものであった。又BCPに関しては、会員向けのセミナーを開催するとともに当会として藤井寺市と共同で、大阪府に『事業継続力支援計画』の申請をした。今年度も、依然として、コロナの影響が続くと思われる。藤井寺市など各種関連機関と連携を図ることで、効果的な事業を実施ゆく予定である。

## (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営相談支援事業や地域活性化事業の利用者及び参加事業所からは、一定の成果及び実績を残せているが、業種や事業所の立地条件などによっては利用度や参加事業所数の少ないところも見受けられる。又マンパワーが限られている為、積極的にサービスを提案するというよりは、受け身の相談対応になりがちである。

藤井寺市、金融機関など各機関との連携を関係強化することで情報を共有し、相談体制の強化を図らなければならないと思われる。地域の問題や事業所の課題を洗い出し、当会から、積極的にサービスを提案してゆく必要がある。

## (5) 次年度の取り組み

上記課題を解決する取り組みとして、潜在的な課題の掘り起こしと、より商工会活動の周知徹底を図るために、積極的な巡回と広報・PR活動を充実させる。特に新たな職員が相談指導に従事する場合にも、業務内容を理解し支援内容を低下させないためにも内外を問わず広報・PRによる周知に重点を置く。

次年度は、藤井寺市と中小企業振興条例の制定に向けた会議を設けることを予定している。条例を制定することで、地域活性化の基盤を作り、商工業の発展を目指してゆく。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 藤井寺市商工会

I 経営相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>市内事業所うち、小売業とサービス業でほぼ半数を占め、従業員が2名以下の事業所もおよそ80%となっている。これらの小規模事業者の抱える課題を迅速に解決するため、経営指導員自身の資質の向上と各種支援機関との連携することで、当初予定していた目標数値を上回る実績を残すことができた。昨年は、一昨年からの新型コロナウイルス感染防止の影響により、全国的に景気が低迷し、管内の経営環境も悪化の傾向が続いていた。コロナに関する経営相談や創業の相談など、職員一丸となり、対応にあたった。</p> <p>コロナに関する新しい施策が打ち出された為、緊密に各種支援機関・専門家と連携することで、日々の巡回・窓口での相談業務に対応した。又小規模企業持続化補助金などを活用することで、事業計画の作成支援を行った。金融支援では日本政策金融公庫のコロナマルケイを積極的に活用することで、財務体力を強化し、事業の安定に繋げることができた。労務支援では年金事業所や公共職業安定所、労働基準監督署などと連携を密にすることにより、よりタイムリーかつワンストップサービスでの雇用調整助成金などの情報提供・問題解決を実現することができた。</p> <p>【代表的な事例】 管内にクラフトビールの醸造所を立ち上げを希望される会員事業所が出てきた。事業資金や事業計画の相談に乗ることで、立ち上げの準備が可能になった。酒造免許を取得し、設備投資も完了した為、次年度には、醸造所の稼働が見込めるようになった。藤井寺市の物産として、観光産業の発展に寄与することが期待できる。</p>						
支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価	
事業所カルテ・サービス提案	事業所	300	351	117.0%	5	
支援機関等へのつなぎ	支援数	5	2	40.0%	2	
金融支援（紹介型）	支援数	15	5	33.3%	2	
金融支援（経営指導型）	支援数	40	24	60.0%	3	
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	1	0	0.0%	1	
資金繰り計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1	
記帳支援	事業所	10	47	470.0%	5	
労務支援	支援数	120	196	163.3%	5	
人材育成計画作成支援	事業所	1	0	0.0%	1	
マーケティング力向上支援	事業所	3	4	133.3%	5	
販路開拓支援	支援数	15	36	240.0%	5	
事業計画作成支援	支援数	30	20	66.7%	4	
創業支援	事業所	5	3	60.0%	4	
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	20	5	25.0%	2	
コスト削減計画作成支援	事業所	5	15	300.0%	5	
財務分析支援	事業所	14	23	164.3%	5	
5S支援	事業所	2	0	0.0%	1	
IT化支援	事業所	1	0	0.0%	1	
債権保全計画作成支援	事業所	0	0		-	
事業承継支援	事業所	10	2	20.0%	2	
災害時対応支援	事業所	0	0		-	
フォローアップ支援	事業所	70	0	0.0%	1	
結果報告	事業所	300	351	117.0%	5	
II 専門相談支援事業						
支援のポイント・成果						
<p>事業所から寄せられる様々な相談内容のうち、高度かつ複雑な課題に対応するためそれぞれの分野の専門家による支援を実施している。法務支援は弁護士、労務支援は社会保険労務士、金融支援は日本政策金融公庫から融資担当者を派遣していただき、毎月1回予約制による相談に応じた。いずれもアンケート調査において高い評価を得ることができている。税務相談は税理士による相談を他の相談と同様に毎月1回の予約制としているほか、確定申告時期には近畿税理士会富田林支部藤井寺地区の税理士による協力のもと、終日相談可能な環境を提供していただき、譲渡や相続、消費税の対策など事業者の関心が高い内容の相談について即時に対応できている。</p>						
事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律相談	継続	相談日数	12	12	100.0%	5
税務相談	継続	相談日数	31	31	100.0%	5
労務相談	継続	相談日数	12	12	100.0%	5
金融相談	継続	相談日数	12	12	100.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業	
支援のポイント・成果	
<p>地域活性化事業は、藤井寺市の施策である「買って応援ふじいでら〈レシート集めて商品券を当てよう〉」へご応募頂いた方の中から、商店街で使える500円割引券が5,000名に当たる藤井寺応援セール「ダブルチャンスGOGOキャンペーン」を『駅前商店街にぎわい創出』の一環として、開催した。参加事業所からは、改善点や改善方法などを自主的に考案するところもあり効果としては大きなものであった。</p> <p>労務関係の取組みとして、『労務啓発セミナー～パワーハラスメント防止措置が事業主の義務になります!』と『コロナ禍における人事管理セミナー』を開催した。国が推進するキャッシュレス導入の取組みとして、去年に引き続き、最新情報の提供をプラスアルファした『キャッシュレス化推進セミナー』を実施した。又社会のIT化に対応する為に、去年に引き続きIT関連のセミナー開催した。それぞれ、受講してもらった事業所では改善に取り組みたいという回答をいただくことができた。</p> <p>令和4年度ではこれらの経験を踏まえ、販路、人事、BCP関連や新規創業者のスタートアップ支援をテーマにできる限り一過性のものではなく、テーマを継続して情報の提供に努めていきたい。</p>	

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	得する街のゼミナール(まちゼミ)	15	15	100.0%	83%	新規顧客開拓、街のにぎわいに役立ったと回答した事業所の割合	80%	100%	125%	5
	駅前商店街にぎわい創出事業	5	5	100.0%	100%	買い物客が増加したと回答した店舗の割合	70%	89%	128%	5
○	小規模事業者向けITサポート事業	20	15	75.0%	93%	セミナー実施後のアンケートで『ITの必要性を感じた』と回答した割合	70%	100%	143%	5
	労務啓発セミナー～パワーハラスメント防止措置が事業主の義務になります!～	20	15	75.0%	93%	疑問点を理解することが出来たと回答した事業所の割合	70%	100%	143%	5
○	キャッシュレス化推進セミナー	20	14	70.0%	86%	キャッシュレス化の導入を検討したいと回答した割合	70%	100%	143%	5
○	感染症対策に関するBCPセミナー	20	14	70.0%	93%	大阪府の超簡易版「これだけは!」シート事業継続計画の策定件数	100%	100%	100%	5
○	コロナ禍における人事管理セミナー	20	6	30.0%	80%	アンケートで『理解できた』『改善する(する予定)』と回答した割合	70%	100%	143%	3

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

藤井寺市商工会

事業名		得する街のゼミナール（まちゼミ）							
想定する実施期間		26	年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 （現状や課題をどのような状態にしたいか）	藤井寺市内には、小売業・サービス業が多く、そのほとんどが規模も小さく個人経営の店舗である。これらの店舗は経験・知識が豊富な店主やスタッフ、優れた技術・サービス等の提供を行っている一方で店舗や商品をPRする時間やノウハウがなく残念ながら認知度が低い。また、若年層や他市から転入してきた方には気軽に入店することも難しく、大手スーパーやコンビニエンスストアで買い物を済ませてしまう。得する街のゼミナール（まちゼミ）では、店主・スタッフの人柄を知って頂くことで訪問しやすい店舗づくりが実現し、顧客となり得る方とのミスマッチを解消することへ繋がる。							
	支援する対象 （業種・事業所数等）	藤井寺市内の小売りやサービス業を中心とした事業者。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	例年通り夏季・冬季の開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2月の冬季開催のみとなった。場所は藤井寺市内の店舗所在地、藤井寺市商工会、藤井寺市内の貸しスペース。個店にはこだわり、技術、知識、経験が豊富にあるがそれを知ってもらう機会が少なく、気軽に入店してもらう仕掛けづくりが必要である。「得する街のゼミナール」で、店主自身が講師となり、受講料無料（材料費がかかる場合がある）にてお客様に少人数制で講座や実践を行った。事前に予約いただいたお客様は、お店の商品やサービスに対する知識が得られ、信頼できるお店の開拓が可能となる。個店は新規顧客の開拓や、ニーズの把握ができ、街にとってはにぎわいが生まれ、「三方よし」のイベントとなる。今年度のまちゼミでは、大人向け講座・子供向け講座・大人子供受講可能な講座と3種類の対象者設定を行った。第13回は大人向け9講座、子供向け6講座、混合4講座となった。主なPR方法は藤井寺市広報紙の裏表紙に掲載、パンフレットは藤井寺市の教育委員会と連携し市内の公立全小中学校の全校生徒に配布し、店頭配布、市内郵便局の窓口、市役所に設置、前回受講者へDMを送付した。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	藤井寺市広報紙へ掲載、市内の公立全小中学校の全校生徒へパンフレットを配布		④相談相乗
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	100.0%	満足率	83.0%
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	自店にお客様が足を運ぶきっかけ作りとしてまちゼミを利用し、お店の良さや店主の人柄を少人数制の講座でじっくりと伝えることができ、店主とお客様の信頼を築くことが出来た。参加することで自身のスキルアップやスタッフの教育にも役立っており、店全体に良い影響をもたらし、知識の深まりも図ることができている。まちゼミに参加する一般客は祖も店にとってほぼ8割が初来店客であり、後日礼状を送付したり季節のあいさつ状やキャンペーン・イベントのお知らせなどが出来る数が増えている。今年度は開催することが出来た冬季も新型コロナウイルス感染症まん延防止措置が適用されている中での開催であったため例年と比べると参加者数は減少していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている店舗にとって新規顧客の獲得、また受講していなくても藤井寺市内に広くPR出来た事に満足されている店主も多い。							
		代表指標	新規顧客開拓、街のにぎわいに役立ったと回答した事業所の割合						
		数値目標	80%	実績数値	100.0%	目標達成度	125.0%		
	成果の代表事例	子どもへの関わり方「マザーズコーチング」を教える事業があった。コロナ禍に開業しPRをするもなかなか集客が伸び悩んでいた。まちゼミに参加することで市の広報紙に載っている事業所であること、体験が出来ることが来店のしやすさに繋がり上手くPRすることが出来た。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	令和4年度は夏ごろに子供向けを多く開講するまちゼミ、冬季は大人向けを中心に実施予定。藤井寺市内へのPRはもちろんのこと、課題である藤井寺市外へのPR方法を検討する。							

藤井寺市商工会

事業名

駅前商店街にぎわい創出事業

想定する実施期間

26

年度～

年度まで

※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること

事業の目的  
(現状や課題をどのような状態にしたいか)

複合商業施設であるイオンショッピングセンターが駅前オープンしたことにより、藤井寺市内外からの買い物客が増加しているが、商店街へ足を運ぶ客層は減少しており、昨年に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により客足は更に遠のいた。今年度以降、駅周辺の各店舗や施設は感染対策を十分に行った上でいかに新規顧客を取り入れられるかがポイントとなる。商店街の店舗についてはそれぞれ屋外に面していることを生かし各店舗内は感染症対策を行っていることがアピールできれば、安心感のある商店街イメージが作られる。密を作らない環境で人の流れを商店街や各施設へ向けるためのきっかけ作りを行い、駅周辺が相乗効果で賑わう仕組みを構築したい。

支援する対象  
(業種・事業所数等)

藤井寺及び道明寺地区の5商店街  
(道明寺天神通り商店街、ハートフル91商店街、藤井寺一番街商店街、藤井寺駅前北商店街、イオン藤井寺ショッピングセンター同友店会)

事業の概要

実施時期・具体的な内容及び事業手法

藤井寺市商工会と藤井寺市共催の「買って応援ふじいでら〈レシート集めて商品券を当てよう〉」へご応募頂いた方の中から、商店街で使える500円割引券が5,000名に当たる藤井寺応援セール「ダブルチャンスGOGOキャンペーン」を開催した。開催期間は8月1日～9月30日。各商店街登録店舗で501円以上お買い物された場合使用できる500円特別割引券を配布。市広報、市HP、イベントチラシにより周知。

四天王寺大学との連携による、商店街MAPや店舗情報が掲載された「こよみ手帳」を作成。各商店街で配布された。

<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>

①府施策連携

②広域連携

③市町村連携

事業実施にあたり、藤井寺市と周知やイベント手法等について話し合い実施できた。

④相談相乗

藤井寺市商店連合会との会議を重ね、よりお客様のニーズに合うイベント内容や手法を考えて行く中で、販路開拓支援や労務支援など相談事業との相乗効果が図れた。

計画に対する実績(数値)

総支援企業数(計画)

5.0

総支援企業数(実績)

5.0

支援実績率

100.0%

満足率

100.0%

事業全体の実績/目標達成度

目標の達成度  
(支援企業をどう変化させることができたか)

藤井寺市内の商品券イベントに乗じ本事業を行なったことで、商店街内の店舗を知ってもらえる機会に繋がったことや、駅周辺の買い物客への宣伝やアピールが行えた。また、消費者のニーズを考え事業手法について協議を重ねたことで、地域活性化を見据えた商店街同士の連携意識が強まった。

代表指標

買い物客が増加したと回答した店舗の割合

数値目標

70%

実績数値

89.3%

目標達成度

127.6%

成果の代表事例

ハートフル91商店街の一部店舗より、イベント期間中「10名以上の初来店者が居た」という報告があった。また「年に1回のイベントではなく複数回行って欲しい」という意見もあったことから、買い物客の増加とともに商店街とその周辺店舗へ好影響をもたらした。

その他目標値の実績

目標値(計画)

目標値(実績)

目標達成度

実施結果

課題及び次期以降への取組み  
(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)

商店街の店舗アンケートより、世代間でのイベント認知度の違いが目立ったことについて指摘があった。市の広報等を見ない若い世代へ向け、SNSを利用した周知や宣伝方法を考えていかなければならないことから、四天王寺大学の学生とより連携して今後のイベント企画を行なうことが望ましい。

藤井寺市商工会

事業名		小規模事業者向けITサポート事業							
想定する実施期間		2	年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	藤井寺市は、従業員の人数が少ない小規模事業者の比率が高い。会社の事務を担う専属の従業員を雇う余裕のある事業所は、多くはない。又従業員も高齢化している為、ITリテラシーも高くない。講習会を受講することで、必要性のあるITツールの導入を検討して頂いている。今後、生産性の向上、業務の効率化や人材不足の解消に繋がることが期待出来る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の中小企業・小規模事業者で若手新入社員から管理職まで広く対象とした。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	実施時期；令和3年12月9日（木） 内 容；授業形式のセミナー 事業手法；ノートパソコンを持参して頂くとともにGoogleのアカウント活用した。 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	局5（大阪府の担当者と連絡を取り、事業計画を遂行した。）						
		②広域連携							
③市町村連携		セミナーの案内を藤井寺市の広報に記載させて頂いた。							
④相談相乗	セミナー後に、事業者との個別相談に応じて頂いた。アプリの活用方法など。								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足率	93.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	従業員が少ない小規模事業者の比率が高い。会社の事務を担う専属の従業員を雇う余裕のある事業所は、多くはない。又従業員も高齢化している為、ITリテラシーも高くない。この点、本セミナーにおいて、以下の項目を説明し、ITリテラシーの向上を図った。  実績例は以下の通り。  ・ Google無料アプリの活用。 ・ 作業の効率化（コンピューターによる代替作業） ・ 情報の連携・共有の強化。 ・ デジタル化への準備対応。 ・ クラウドの活用。 等							
		代表指標	セミナー実施後のアンケートで『ITの必要性を感じた』と回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	・ Googleアプリを学んだことで、ITリテラシーが向上した。 ・ GoogleカレンダーやMeetの活用。等							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	(課題) 参加者各自がノートパソコンを用いた実務講習であったこと、参加者のITスキルのレベル等により、進捗度に差があったこと等により、1時間半の受講時間では、短いと感じた。受講日を増やして複数回開催する必要があると思われる。							

藤井寺市商工会

事業名		労務啓発セミナー～パワーハラスメント防止措置が事業主の義務になります！～							
想定する実施期間		3	年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	藤井寺市は従業員が少ない中小企業、零細企業が多い。 2020年6月1日からパワーハラスメント防止措置が事業主の義務となったが 中小企業は2022年4月1日から義務となる。 完全に義務化となる前に理解し、対策をする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	藤井寺市内の従業員を有する事業所（法人・個人事業主ともに）							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	《開催場所》藤井寺市商工会内 研修室 《開催時期》2022年1月26日（水） 全1回 《内容》 心理学に詳しい講師を招き、まずは何がパワハラとなるのか？心理からひも解くパワハラについて理解して頂く。 また、後半はパワーハラスメント防止措置に詳しい専門家に依頼し措置について解説、説明していただく。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	市の広報紙への記載。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	15.0	支援実績率	75.0%	満足率	93.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	2020年6月1日からパワーハラスメント防止措置が事業主の義務となったが中小企業は2022年4月1日から義務となる事を知っている企業、知らない企業、知っていたが実施できていない企業様々であった。 しかし、セミナーを受講することで何がパワーハラスメントとなりうるのか、企業はどのようにパワーハラスメント防止措置を行えばよいのか等の疑問点の解決に繋がった。 結果として2022年4月の義務化に向けて対策を行い、労務環境の改善へ繋ぐことが出来ている。 実際に従業員からの相談を受けていた企業もあり、問題点の解決に繋がり、結果従業員の離職を防ぐことが出来ている。							
		代表指標	疑問点を理解することが出来たと回答した事業所の割合						
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	パワハラ対策の義務化については知っており対策済みであったが従業員からパワハラを受けているような相談があった。セミナーに参加しパワハラとは何か等問題点の解決に繋げることが出来た。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今後も中小企業の興味のある内容のセミナーを実施していく。							

藤井寺市商工会

事業名		キャッシュレス化推進セミナー																													
想定する実施期間		31	年度～	年度まで	※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																										
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現在、商品の購入やサービスを利用した際の支払を「クレジットカード」や「電子マネー」で行う場面が増えてきている。スマートフォン端末などを利用したキャッシュレス精算も広く浸透してきているが、藤井寺市では、小売・サービス業が多くまだまだ地域の商店街や小売店舗などでの活用は浸透しているとは言えない。次世代の顧客を獲得するツールとしてもキャッシュレス化について知識を得る機会を提供する。																													
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小売・サービス業を中心に中小企業の経営者																													
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【日時】令和3年10月19日 17時00分～18時30分</p> <p>【場所】藤井寺市商工会 2階会議室</p> <p>【講師】Pay Pay株式会社 正規業務委託会社 キャリアリンク株式会社 豊福 寛之 氏</p> <p>【内容】キャッシュレスの始め方から使い方、最新情報の提供 キャッシュレス化の利便性について、知ってもらう</p> <p>&lt;事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="5">商 8 番 (大阪府の担当者との連絡を取り、事業計画を遂行した。)</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="5">市の広報に掲載し藤井寺市役所ロビーに配布用のチラシを設置等市民に幅広く周知を図る。□</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="5">キャッシュレス化の具体的な導入方法に関して相談に乗った。</td> </tr> </table>						①府施策連携	商 8 番 (大阪府の担当者との連絡を取り、事業計画を遂行した。)					②広域連携						③市町村連携	市の広報に掲載し藤井寺市役所ロビーに配布用のチラシを設置等市民に幅広く周知を図る。□					④相談相乗	キャッシュレス化の具体的な導入方法に関して相談に乗った。				
	①府施策連携	商 8 番 (大阪府の担当者との連絡を取り、事業計画を遂行した。)																													
②広域連携																															
③市町村連携	市の広報に掲載し藤井寺市役所ロビーに配布用のチラシを設置等市民に幅広く周知を図る。□																														
④相談相乗	キャッシュレス化の具体的な導入方法に関して相談に乗った。																														
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	85.7%																							
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>キャッシュレス化を知っているが、なかなか実際に利用した事がない方は、この新型コロナウイルス感染症が流行している中、非接触の感染症対策にもなる事やキャッシュレス決済が主流となりつつある今、キャッシュレス決済を利用した新規顧客確保につながる事。まだまだ進化し続けるキャッシュレス化の便利な機能を利用する方法など、販路拡大に期待できること等を説明し、キャッシュレス化に興味を持って頂けた。</p> <p>セミナー終了後、実際にキャッシュレス化の導入を決められた方もいた。</p>																													
	代表指標	キャッシュレス化の導入を検討したいと回答した割合																													
	数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%																									
成果の代表事例	成果の代表事例	セミナー開催後、キャッシュレス化導入を3件																													
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																									
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	キャッシュレスは多種多様で、次々と新しいものが増えてきている。その都度、新しい情報を発信する必要がある。また、キャッシュレス化に備わっている便利な機能を利用して売上向上・販路拡大に役立つ事を課題として検討する。																													

藤井寺市商工会

事業名		感染症対策に関するBCPセミナー							
想定する実施期間		31	年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	昨年より、コロナ禍の状況続き事業中断を引き起こす状況が続いているが、緊急宣言発生時に対しても、企業経営上の危機管理強化に対応できる知識を高めるために取組むことを目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	今後事業を継続させていく小規模事業所及び経営者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	「基礎から分かるBCP策定セミナー ～感染症に負けない組織作り～」 【日時】令和3年11月24日 17:00～18:30 【場所】藤井寺市商工会 1F研修室 【講師】ミネルヴァベリタス株式会社 経営コンサルタント 大久保 勇吾 氏  現在、事業継続を脅かす新型コロナウイルス感染症等の感染症リスクを対象に、なぜ事業継続計画（BCP）が必要なのか、企業にとって防災と事業継続の違いなどを知って頂き、有事の際の行動を具体的にするため事業継続計画を策定しておく事を説明。実際に超簡易版BCP「これだけは！」シート（新型コロナウイルス感染症対策版）を策定して頂く。							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課 経営革新グループと連絡をとり連携してすすめた。						
②広域連携									
③市町村連携	市の広報に掲載し藤井寺市役所ロビーに配布用のチラシを設置する等、市民に幅広く周知を図る。								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	14.0	支援実績率	70.0%	満足率	92.9%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	BCP（事業継続計画）を知らない方も多く、セミナーを受講して頂く事で、非常時に事前の対策を検討する事が、大変必要であることを再確認して頂けた。また、大阪府の超簡易版BCP「これだけは！」シート（新型コロナウイルス感染症対策版）というものがある事も知って頂け活用したい、もっと詳しく知りたいという方もいた。							
		代表指標	大阪府の超簡易版「これだけは！」シート事業継続計画の策定件数						
		数値目標	100%	実績数値	100.0%	目標達成度	100.0%		
	成果の代表事例	基礎から分かる内容で、なぜ事業継続計画が必要なのか説明する事により、全体的には満足して頂けた。また実際に事業継続計画を策定して頂き、今後活用したいという声も頂いた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	今回は、「新型コロナウイルス感染症」にしぼった内容にしたが、他にもリスクはありもっと多様に対応できる取組みを次期課題とする。							

藤井寺市商工会

事業名		コロナ禍における人事管理セミナー							
想定する実施期間		3	年度～	年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること					
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルスに伴う自粛などで、テレワークや時差出勤などが一気に世の中に広がった。これと同時に、人々の「働き方」も劇的に変化している。今後、従来通り「場所と時間」での人事管理だけでは、困難な環境になることが想定される。コロナ禍に見合った職場環境、労働制度の構築を目的とする。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の中小企業、小規模事業者							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	労務環境の改善と助成金の活用術 【日時】2022年1月26日 17:00～18:00 【場所】藤井寺市商工会 1F研修室 【講師】社会保険労務士 奥井 康代 氏 【内容】パワハラ対策が義務化されることを機に、労務環境の見直しとそれを促進するために利用可能な助成金の紹介をする。							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	南河内地域労働ネットワーク事業の一環として、大阪府労働環境課と広報等の連携を行う。						
	②広域連携								
	③市町村連携	市広報に掲載することで市民に幅広く周知を図る。							
	④相談相乗	労働・専門家紹介に繋げることで、会員サービスの向上を図る。							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	20	総支援企業数(実績)	6	支援実績率	30.0%	満足度	80.0%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	・ハラスメント防止対策が強化されたことに伴い、「パワーハラスメント防止措置」の設置が義務化されたことを周知できた。 ・防止措置の具体的な内容として、社内に相談窓口の設置や社内文書を配布等することなどがあるが、講師の作成した社内通知文書の提供や社会保険労務士会の活用などの希望があり、文書データを送ってほしい等の反応が複数みられた。 ・法律から見たハラスメントの意味がわかった。また、放置するとどうなるのか、講師の経験を踏まえた事例もあって理解しやすかった。							
		代表指標	アンケートで『理解できた』『改善する(する予定)』と回答した割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
	成果の代表事例	助成金について詳しく知りたいと希望され、商工会が行う専門相談へつなぐことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	課題： 新型コロナウイルス感染症拡大による「まん延防止等重点措置」の発令のため、外出の自粛を要請され実績が目標値に達しなかった。 今後の取組： 内容への満足度は高かった反面、時間の都合で省略した箇所をもっと聞きたかったと意見があったので、今後の講習会では内容を講師と綿密に打ち合わせ、時間配分の確認を行う。また、時世に合わせた形式での講習会の開催を検討する。							